

アンケート自由記述のまとめ^{*)}

伊藤 厚子
理化学研究所

アンケート自由記述の概要を以下にまとめた。

アンケート回答総数：2619 名（内 女性 214 名、不明 8 名）

自由記述：436 名

男性：377 名

女性：59 名

自由記述の内容を以下の 6 項目に分類して整理した。同一人が複数の項目について意見を述べている場合には該当の項目に振り分けた。また、複数の項目に関わる意見については、複数項目への重複を許して分類した。

分類項目：

1. アンケートへの意見
2. 物理学会・文部行政への意見
物理学会固有
文部行政等への注文
3. 保育・介護関連
4. 一般的意見・感想など
5. Q29: 同じポストにつく場合の業績男女差
6. Q30: 女性教官（教員・研究者）割合の数値目標

1. アンケートへの意見

アンケートへの意見総計： 述べ件数 182 件

I. 設問を指定した意見 男女合計 107 件

(A) 男性 計 105 件

Q5(1 件), Q7(1 件), Q9(1 件), Q12(3 件), Q13(1 件), Q14(3 件), Q15(1 件), Q16(3 件),
Q17(3 件), Q18(2 件), Q19、21(3 件), Q23(1 件), Q25(1 件), Q26, Q27(15 件),
Q28(22 件)

Q29 (計 33 件) (カッコ内は回答で現状（理想）を想定した人が、理想（現状）を想定した時の回答を付記)

現状で ((9 件))

理想で ((5 件))

現実と理想併記 ((2 件))

現実・理想不明 ((6 件))

一般 ((11 件))

Q30 (11 件)

(B) 女性 計 2 件

Q12(1 件), Q29(1 件)

^{*)} アンケート質問票はこの報告の最後に添付したので、それを参照していただきたい。

II. 総合意見 男女合計 75 件

(A) 男性 計 67 件

- (1) 設問内容不明確 (5 件)
- (2) 設問不足：研究者に片寄っている、該当する項目なし など (20 件)
- (3) アンケート好評意見 (7 件)
- (4) 批判的一般意見 (21 件)
- (5) 一般 (14 件)

(B) 女性 計 8 件

- (1) 設問内容不明確 (2 件)
- (2) 設問不足：研究者に片寄っている、該当する項目なし など (3 件)
- (5) 一般 (3 件)

2. 物理学会・文部行政への意見

整理中

3. 保育・介護関連

保育・介護関連総計： 延べ件数 27 件

- (1) 学会保育への評価と継続の要望 (7 件)
- (2) 公的保育・介護施設の整備の要望 (10 件)
- (3) 保育・看護一般 (10 件)

4. 一般的意見・感想など

整理中

5. Q29: 同じポストにつく場合の業績男女差

Q29 同じポストの業績男女差総計： 延べ件数 20 件

(A) 男性 計 16 件

- 1. 現実には多く必要、理想は同じ (9 件)
- 2. 一般意見 (7 件)

(B) 女性 計 4 件

- 1. 現実には多く必要、理想は同じ (1 件)
- 2. 一般意見 (3 件)

6. Q30: 女性教官（教員・研究者）割合の数値目標

Q30 数値目標総計： 延べ件数 147 件

(A) 男性 計 131 件

- 1. 賛成 (20 件)
- 2. 反対 (73 件)
- 3. 賛成とも反対ともいえない。意見あり。(38 件)

(B) 女性 計 16 件

- 1. 賛成 (5 件)
- 2. 反対 (8 件)
- 3. 賛成とも反対ともいえない。意見あり。(3 件)

日本物理学会会員の状況に関するアンケート

注意書き

このアンケートはできるだけ web でのご回答をお願いします。回答の書式は <http://www.toyoag.co.jp> に掲載されています。アンケート調査の目的と趣旨は 719 ページに記した通りです。

Web での回答が困難な方は以下にご記入のうえファクスまたは郵送でご回答ください。また秋季大会（徳島文理大学および沖縄国際大学）の開催中に、会場備え付けの用紙にご記入のうえ、もよりのアンケート回収箱にお入れくださっても結構です。アンケートの締め切りは 9 月 30 日です。なお、このアンケートに関わる個人情報については、セキュリティの保証に万全を期するよう対策をとるようにいたします。

送り先: ファックス 03-3432-0997 日本物理学会アンケート係

郵送 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 211 号室 日本物理学会 アンケート係

該当する□内に×印を記入し、[] 内には数字または文字を記入してください。

まず、現在の状況についてお伺いします。

1. 年齢: (2001 年 9 月現在) [] (数字) 歳
2. 性別: ☐男性 ☐女性
3. 国籍: ☐日本 ☐それ以外 [] (国名)
4. 学歴: 大学学部卒 [] (数字) 歳の時, 修士修了 [] (数字) 歳の時, 博士修了 [] (数字) 歳の時
5. 所属学会 (複数可):
☐日本物理学会 (分科: ☐物性 ☐素・核・宇 ☐物理一般)
☐応用物理学会
☐その他(学会名 複数可) []
6. 現在の専門分野は、学部生あるいは大学院生のときの専攻分野と
☐同じ ☐広げた ☐変えた
広げたあるいは変えた方はその理由
☐研究の興味 ☐就職のため ☐その他の理由(具体的に) []
7. 大学院生のときの奨学金
☐支給を受けた → その種類 (複数可)
☐学術振興会 ☐日本育英会 ☐企業提供 ☐財団法人 ☐その他 []
☐支給を受けていない
☐応募したが採択されなかった
☐応募しなかった → その理由
☐経済的に不必要 ☐返還義務に対する不安 ☐その他 []
8. 博士号の有無
☐なし
☐あり 種類 ☐国内大学院課程博士 ☐論文博士 ☐海外の Ph. D.
取得したときの年齢 [] (数字) 歳
複数もっている場合二つ目は [] (数字) 歳のとき取得
9. 博士号取得までの間に大学外 (企業等) で就業経験
☐なし
☐あり ☐常勤職についていた およそ [] (数字) 年間
☐非常勤で働いていた およそ [] (数字) 年間
☐その他 (含む無職) およそ [] (数字) 年間

10. 社会人学生の経験がありますか。

☐ いいえ

☐ はい ☐ 現在学生 → ☐ 学部学生 ☐ 大学院修士課程 ☐ 大学院博士課程
☐ すでに卒業 → ☐ 学部 ☐ 大学院修士課程 ☐ 大学院博士課程

11. 現在の所属：

☐ 大学院が設置されている大学 ☐ その他の4年制大学 ☐ 短大、高専等 ☐ 高校・中学校等
☐ 研究所（民間、公立） ☐ 企業 ☐ 官公庁 ☐ 定年退職 ☐ 無職 ☐ その他

12. 現在の役職（対応する役職にあてはまらなくても相当する項目を選択してください）

大学・短大・高専等：☐ 学部生 ☐ 院生 ☐ 博士後研究員 (postdoctoral fellow) ☐ 技官・教務員
☐ 助手 ☐ 講師 ☐ 助教授 ☐ 教授 ☐ 名誉教授

高校・中学校等：☐ 教諭 ☐ 教頭・校長 ☐ その他

研究所：☐ 任期付研究員・博士後研究員 (postdoctoral fellow) ☐ 常勤研究員 ☐ 主任研究員 ☐ 室長
☐ ユニット長

企業：☐ 一般職 ☐ 主任クラス ☐ 課長クラス ☐ 部長クラス以上 ☐ 嘱託など

官公庁：☐ 一般職 ☐ 主任クラス ☐ 課長クラス ☐ 部長クラス ☐ 局長クラス

13. 何らかの形で研究に携わっている方々に研究スタイルについて伺います（複数回答可）

☐ 実験 → ☐ 屋外実験 ☐ 屋内実験 ☐ その他 []

☐ 調査 → ☐ フィールドワーク ☐ 屋内調査 ☐ 文献調査 ☐ その他 []

☐ 理論 → ☐ 理論 ☐ シミュレーション ☐ その他 []

次に業績や就職の状況についてお伺いします。

14. 業績について

レフェリーつき論文（共著も含む）

初めて発表したときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までの論文数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31-50, ☐ 51-100, ☐ 101 以上

国内学会・研究会講演

初めて講演をしたときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までの講演数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31-50, ☐ 51-100, ☐ 101 以上

技術、研究開発（共同開発も含む）

初めて開発したときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までの研究開発の数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31-50, ☐ 51-100, ☐ 101 以上

特許申請（共同申請も含む）

初めて特許申請をしたときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までの特許申請数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31-50, ☐ 51-100, ☐ 101 以上

著書の出版（共同執筆も含む）

初めて出版したときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までの著書の数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31-50, ☐ 51-100, ☐ 101 以上

その他一般雑誌等に発表した論考

初めて発表したときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までの論考の数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31-50, ☐ 51-100, ☐ 101 以上

15. 国際会議・海外派遣について

国際会議に初めて出席したときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までに出席した国際会議の数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31 以上

国際学会等で初めて講演（ポスター発表も含む）したときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までに国際学会で行った講演の数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-30, ☐ 31 以上

6 カ月以上の海外派遣に初めてでかけたときの年齢 [] (数字) 歳頃

現在までに経験した6 カ月以上の海外派遣の数 ☐ 0, ☐ 1-3, ☐ 4-7, ☐ 8-10, ☐ 11 以上

16. 科学研究費や財団等の研究奨励金の交付について
初めて交付を受けた年齢 [] (数字) 歳頃
現在までに交付された研究奨励金の数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-20, ☐ 21 以上
17. あなたは研究指導した経験がありますか？
☐ いいえ
☐ はい 正式に修士論文レベルの指導をした学生の数 [] (数字) 人
正式ではないが実質的に修士論文レベルの指導をした学生の数 [] (数字) 人
正式に博士論文レベルの指導をした学生の数 [] (数字) 人
正式ではないが実質的に博士論文レベルの指導をした学生の数 [] (数字) 人
18. あなたが専門的な訓練を受けて以後(例えば博士課程修了後), 博士後研究員 (postdoctoral fellow), 非常勤職, あるいはオーバードクター (無給研究員) の経験がありますか
☐ なし
☐ ある 常勤職につくまでの年数 約 [] (数字) 年 (現在もそういう状態の人は現在までの年数)
19. 最初の常勤職につくまでに, 何回応募しましたか.
☐ 0 回, ☐ 1-5 回, ☐ 6-10 回, ☐ 11-20 回, ☐ 21 回以上
20. 最初の常勤職についたとき, どのようにして採用が決まりましたか.
☐ 公募 (入社試験などの採用試験を含む)
☐ 公募ではないがある程度の範囲で募集
☐ 紹介による → 紹介者は ☐ 指導教授 ☐ 同僚・知人 ☐ 家族・親戚 ☐ その他
☐ その他 具体的に []
21. 最初の定職に就いてからの昇進昇格までの経過年数, および応募回数について
第1回の昇進昇格までの経過年数 [] (数字) 年 → 応募回数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-20, ☐ 21-40, ☐ 41 以上
第2回の昇進昇格までの経過年数 [] (数字) 年 → 応募回数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-20, ☐ 21-40, ☐ 41 以上
第3回の昇進昇格までの経過年数 [] (数字) 年 → 応募回数 ☐ 0, ☐ 1-5, ☐ 6-10, ☐ 11-20, ☐ 21-40, ☐ 41 以上
22. 役職の経験について
- | | 初めて経験した年齢 | 回数 | | | |
|---------------------|-------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | | 0 | 1-5 | 6-10 | 11 以上 |
| 職場の管理職 | [] (数字) 歳頃 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 国内学会役員など | [] (数字) 歳頃 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 国際学会組織委員, プログラム委員など | [] (数字) 歳頃 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 国際会議座長など | [] (数字) 歳頃 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| 国内の研究会の責任者や組織者 | [] (数字) 歳頃 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

最後に家庭環境等についてお伺いします。

23. 結婚の経験の有無について
☐ 未婚
☐ 既婚 (婚姻届の有無や死別離婚等に関わりません)
もしお差し支えなければ配偶者の職業についてお答えください
勤務形態: ☐ 常勤, ☐ 非常勤, ☐ 無職
職 種: ☐ 大学教員, 研究者など ☐ 会社員, 公務員など ☐ 高校・中学校などの教師
☐ 自営業, 自由業 ☐ その他 []
24. 子供の有無:
☐ なし
☐ ある [] (数字) 人
子供の年齢 (複数の方は複数回答で) ☐ 小学生未満 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生
☐ 大学生 ☐ それ以上

25. 24で「ある」と答えた方は、乳幼児期および学童期の保育について、第1子と末子について該当する項目に×印をつけてください（複数回答可）。

	第1子	末子
a. 保育園を利用した	☐	☐
b. 学童保育を利用した	☐	☐
c. 保育園以外の一般保育制度を利用した	☐	☐
d. 親に頼んだ	☐	☐
e. 知人や近所の人に頼んだ	☐	☐
f. 家政婦さんなどを雇った	☐	☐
g. 配偶者が面倒を見た	☐	☐
h. その他 具体的に	第1子 [	末子 [

26. 育児の経験について

☐なし

☐あり 育児休職制度を利用した→休職期間 合計 [](数字) 年

27. 介護の経験について

☐なし

☐あり 自分の両親の介護 ☐なし

☐あり 主な介護方法（複数回答可）

☐自分が直接介護 ☐家族内に介護者がいた ☐親類に協力してもらった

☐入院 ☐ホームヘルパー・介護人の派遣を受けた ☐家政婦さんを雇った

配偶者の両親の介護 ☐なし

☐あり 主な介護方法（複数回答可）

☐自分が直接介護 ☐家族内に介護者がいた ☐親類に協力してもらった

☐入院 ☐ホームヘルパー・介護人の派遣を受けた ☐家政婦さんを雇った

介護の期間（通算で回答してください）

☐半年未満 ☐半年～1年 ☐1年～2年 ☐2年～5年 ☐5年以上

28. あなたが教育・研究に関わる時間を1としたとき、次の各項目について実際にどの程度の時間を割いていますか。また、理想としては（現在該当していなくても）どの程度割くべきと思いますか。

管理運営・役職等に関わる時間

実際 ☐0 ☐1/4 程度 ☐1/2 程度 ☐同程度 ☐3/2 程度 ☐2 倍以上

理想 ☐0 ☐1/4 程度 ☐1/2 程度 ☐同程度 ☐3/2 程度 ☐2 倍以上

家事・育児など

実際 ☐0 ☐1/4 程度 ☐1/2 程度 ☐同程度 ☐3/2 程度 ☐2 倍以上

理想 ☐0 ☐1/4 程度 ☐1/2 程度 ☐同程度 ☐3/2 程度 ☐2 倍以上

ボランティアなど

実際 ☐0 ☐1/4 程度 ☐1/2 程度 ☐同程度 ☐3/2 程度 ☐2 倍以上

理想 ☐0 ☐1/4 程度 ☐1/2 程度 ☐同程度 ☐3/2 程度 ☐2 倍以上

29. 女性が男性と同じポストに就くには、男性の何倍程度の経歴・業績が必要だと思いますか？

☐1/2 より少ない, ☐1/2 程度, ☐同程度, ☐3/2 程度, ☐2 倍程度, ☐2 倍より多い

30. 2000年5月、国立大学協会男女共同参画に関するワーキンググループが報告書をまとめました。そのなかで、大学の教員公募システムの確立と女性教官（講師以上）を今後10年で20%に増やすという数値目標を提言しています。このような動きについてのご意見をお聞かせください。

公募システムを確立することについて ☐賛成 ☐反対 ☐どちらとも言えない

女性教員数の数値目標を定めることについて ☐賛成 ☐反対 ☐どちらとも言えない

組織の運営方針の決定に関わる委員会などの女性委員数に数値目標をおくことに ☐賛成 ☐反対

☐どちらとも言えない

以上でアンケートはおしまいです。ご協力に感謝します。

なお、研究者を巡る環境改善ならびに男女共同参画に向けて物理学会がとりくむべき課題について、また本アンケートについてのご意見やご感想はここに（不足の場合は別紙を添付）自由にお書きください。アンケート集計の参考にさせていただきます。